

科目名	理学療法評価学Ⅱ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 問題解決や改善のため、様々な評価の意義を理解し、方法を身につける。また、それらのデータを分析し考察を行い、患者の状態を総体的に把握する。								
〔授業全体の内容の概要〕 主な評価項目の意義と方法を講義と実技を平行して行っていく。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 ①評価に必要な知識を取得する。②健常者に正しい方法で評価が実施できる。 ③評価の結果を統合し、仮説を立て、解釈する練習を行う。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション;評価の意義とプロセス							
2	問診、収集すべき情報とその意味							
3	バイタルサインの評価							
4	バイタルサインの評価							
5	筋トーンと反射							
6	筋トーンと反射							
7	感覚検査							
8	感覚検査							
9	脳神経検査							
10	脳神経検査							
11	高次脳機能検査とその診かた							
12	高次脳機能検査とその診かた							
13	片麻痺の検査							
14	片麻痺の検査							
15	協調運動							
16	協調運動							
17	姿勢のみかた							
18	姿勢のみかた							
19	平衡機能							
20	平衡機能							
21	痛み・整形外科的検査法							
22	痛み・整形外科的検査法							
23	整形外科的検査法							
24	整形外科的検査法							
25	復習							
26	復習							
27	復習							
28	復習							
29	総まとめ							
30	総まとめ							
	定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名		著者名		出版社				
ベッドサイドの神経の見方		田崎義昭・他		南山堂				
理学療法評価学		松澤 正・他		金原出版株式会社				
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
実技テストと筆記試験で評価する。								